

(令和4年度)
学校自己評価書

園番号	園名
713	若草こども園

713若草こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育活動に関するもの	(1) 教育目標・教育計画	① 教育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が園の教育保育目標を共通理解し、具体的な取り組みにする。 ・目標達成のため子どもの姿を踏まえて、計画を作成し実践する。 ・保護者へのアンケートを実施し、教育・保育活動の検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標を達成するために、園長が教育ビジョンを打ち出し、職員全体で共通理解することができた。 ・子どもの姿を捉え、一人一人に応じた教育保育に取り組んだ。 ・園関係者や保護者向けに園評価を実施し、評価を得ることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標や計画に基づいて子どもの園生活や遊びや行事に教育的目標が達成できるように意識して取り組むことができたかどうか。 ・アンケート等から教育活動全般に良い評価を頂くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すこども像と実践が結び付き、より質の高い教育・保育を提供することを旨とする。
		② 教育計画の作成					
		③ 教育課程の編成					
		④ 教育活動の評価					
	(2) 教育内容・保育指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・発達や子どもの様子に応じて毎月の指導計画を見直しを行う。 ・子どもが主体的に取り組める活動ができる環境や援助のあり方を探り工夫改善する。 ・公開保育・園内研修を実施し他園の評価・指導を受けたり職員間で保育内容や環境構成について意見交換を行い、改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達や子どもの様子を踏まえながら、各学年で指導計画の見直しを行い、次の計画へと繋げていくことができた。 ・各年齢年1回の公開保育を実施し評価を行い課題を明らかにし工夫改善に繋げることができた。 ・乳児保育について見直し、園全体で取り組み、公開保育を通して園外の保育教育士にも評価を得ることができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が子どもが遊ぶ姿を丁寧に見て分析したり指導を工夫してきたことで子どもの成長に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体性・創造性をさらに引き出せるような環境構成や援助を追求する。
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
		④ 評価					
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の目的や内容について子どもが主体的に進められるものとする。 ・こども園としての乳児・幼児及び全体の行事内容の精選と工夫を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な行事において、日頃の保育の積み重ねとして主体的に取り組んだ。 ・感染症対策をしながら工夫し行うことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事が子ども達にとってどのような学びになるのかを検討し、望ましい行事の構築に努めることができたかどうか。 ・年間の行事について保護者・地域から良い評価を得ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の評価からさらに園行事の精選を図り、子ども達の生活がより充実し豊かなものになるよう、見直しを持って立案する。 ・何を大切にして伝えたいのかを見直し、職員で共有していく。
		② 行事内容の精選					
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭支援推進保育士を中心として人権教育指導計画を立案し、取り組みをすすめる。 ・一人一人の生活背景や発達の過程、環境が異なることを踏まえ指導計画を作成し職員間で連携しながら取り組みをすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭支援推進保育士を中心として反戦・人権の取り組み、地域との情報交換等を行うことができた。特に、人権学習会を計画的に行う事ができた。 ・日頃より職員間で情報交換を行い実態把握・対応等について検討を行いながらすすめていった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園が子ども一人一人にとって安心・安全な居場所としての役割を果たしているか。 ・職員間・関係機関と情報共有しながら子どもの安心・安全な環境となれるよう取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みを次年度に引き継ぎ、保護者と地域と共に情報を共有しながら取り組みをすすめる。
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> ・些細な事でも報告、連絡、相談を密にする。 ・子ども・保護者の思いに寄り添いすすめる。 ・家庭との連携を常に図っていくようにする。 ・関係機関との連携を密にとり情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を保育者間で共通理解する。 ・子どもの様子や保護者の思いを園全体で把握する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速・組織的な対応、職員間の連携と情報共有を図りながら取り組みをすすめていけたか。 ・それぞれの事案に応じ職員間・各関係機関で情報共有し丁寧に対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な保護者への適切な対応を続けていく。
		② 教育相談・幼児理解					
		③ 家庭との連携					
		④ 関係諸機関との連携					
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・対処方針や指導計画が明確である	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報の共有を図り、子ども一人一人の実態把握に努め、関係機関と連携しながら必要な支援を行ってきている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の様子を十分に把握するように努めたか。 ・子どもの様子について職員間で情報交換を行い、気になる事案について確認し合ったり関係機関や保護者への対応など迅速にすすめてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き情報を共有し配慮が必要な子ども・保護者への適切な対応を続けていく。
			・日頃より実態把握・早期発見に努めている				
			・各学級の状況を園組織として共有できている				
	(6) 特別支援教育	③ 指導方法の工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域と連携できている ・組織的に迅速に対応する体制が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する子どもについて、全職員で共通理解しかかわる。 ・特別支援教育コーディネーターと連携を取りながら個別の支援計画をたて教育・保育内容に繋がれた。 ・専門機関にかかわってもらい具体的なアドバイスをもらえる機会を持ち、子どもの理解・環境構成と支援方法等について学ぶことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係の中で発達相談・教育相談を受けることに繋がられた。さらに子ども一人一人の支援について保護者と共に子どもの成長発達へと繋がるかわり方・環境構成等について話し合うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も支援を必要とする子ども一人一人に応じた援助や環境構成について学び、支援を要する子ども達にとって安心できる居場所づくりを目指していく。
		① 推進体制					
		② 個々に応じた特別支援教育の内容					
④ 家庭との連携							
⑤ 関係機関との連携							

(令和4年度)
学校自己評価書

園番号	園名
713	若草こども園

713若草こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 園長が園運営の方針を持ち、課題を踏まえた園ビジョンを設定する。 職員の自発性や創造性を生かしながら、適切な指導助言を行い、職員の能力を十分発揮させるための園内組織を編成する。 職員会議を計画的に取り入れ、職員相互の意思疎通を図る。 保護者や学校評議員からの教育活動の評価について検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに、園ビジョンを基に園運営の方向性を明らかにし、職員との共有を図る。 日々の朝礼や必要に応じた会議の場等で随時連絡・報告・相談の機会を設け、全職員が共通理解を図れるように努めた。 こども園の形態での幼児教育経験を生かした園運営が図れるよう努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で園ビジョンを共有し、園長のリーダーシップのもと取り組むことができたか。 担任・長時間担当それぞれの役割を機会ある度に見直し、話し合いながらすすめてきた。 職員同士の連携により保育の質が高まってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 園運営に対し職員一人一人が参画意識を持ち、教育保育の質の向上を目指していくために、さらにこども園運営について学ぶと共に職員と議論していく。
		② 園経営目標・方針					
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識					
		④ 園務分掌等の連携					
		⑤ 会議の運営と位置づけ					
		⑥ 会議の結果					
		⑦ 職場の人間関係					
		⑧ 園評価の実施					
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各学級園内研修・公開保育等を実施し指導を受けたり環境構成・援助のあり方等について相互に研修し合い、保育実践に生かせるようにする。 公開保育や各保育実践研修に積極的に参加し、学んだ事を伝え合い実践の場で生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 公開保育を実施することで保育計画・環境構成・教材研究・援助のあり方等について繰り返し見直し、検討する機会を持ち、保育の質の向上に繋げることができた。 園内で研究主題に沿った取り組みについてクラスで情報共有を図ったり全職員での研修の場を設け、共通理解しながら取り組むことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修を実施できたか。 公開保育に向けて教育保育計画・環境構成等について繰り返し見直し、改善を行った。 園内研修の実施により教育の質の向上に向けた検討を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に学習の場をを企画し教育、保育の見直しが常に図れる環境を作っていく。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施					
③ 園外の研修への積極的参加							
④ 園外研修内容の報告や伝達							
⑤ 研修成果の普及							
(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理マニュアルをもとに避難・防災訓練計画を立案し職員の共通理解を図る。 毎月の避難訓練や防災訓練を行なう。 交通安全教室を計画し、交通安全への意識を高める。 不審者対応に留意し送迎時間以外の園舎の施錠を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画・防災計画を全員で見直す。 毎月の避難訓練では様々な災害に備えて適切な避難の仕方が身に付くように取り組むことができた。 交通安全教室を開催し、交通ルールについて指導を受けることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練、防犯訓練を行なったり、また、交通安全教室に参加し子ども・職員の安全意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 常に危機管理意識を持ち、園児の安全確保に努める。 コロナ対応で、地域の消防署と連携し直接指導を受ける機会を持つことができなかった。しかし、消火訓練・通報訓練などできる訓練は行っていった。 	
	② 防災計画の立案						
	③ 危機管理体制の整備						
	④ 安全指導の工夫改善						
	⑤ 家庭との連携						
	⑥ 関係機関との連携						
(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう、家庭と連携しながら指導に努める。 日々の健康観察を行い、心のケアが必要な子ども・保護者については全職員で共通理解対応できるようにする。 アレルギー対応を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導や健康管理に努め、園児が自分の体の安全や健康を意識しながら必要な習慣が身に付くようにした。 食事提供については、衛生管理・アレルギー対応等職員間で十分な情報確認・共有を図りながら日々安全な提供に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 個別に支援の必要な家庭が多く、登降園時保護者とのコミュニケーションの中から生活環境等を把握し、担任・家庭支援推進保育士で連携しながら対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 園児・保護者・職員の健康・安全管理を常に心がけ、普段からコミュニケーションをとれるよう留意していく。 	
	② 心のケアや健康相談の体制の整備						
	③ 健康観察、健康管理能力の育成						
	④ 関係機関との連携						
	⑤ 屋食の衛生管理						
(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 園だより・クラスだより・乳児組だより・長時間だより・推進だより・子育て支援だよりなどを通して、園の取り組みを発信する。 ホームページの更新を行い園の様子を発信する。 地域の教育力を保育に取り入れる。 小・中学校、地域の関係機関との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月発行する便りを配布し、園の様子や取り組みを伝えた。 新型コロナウイルス感染症が大流行し、できる範囲が限られたがその範囲の中で、地域の関係機関・学校評議員・小・中学校の先生方と、連携を図ることができた。 地域の会議に出席し園の取り組みを伝え、情報発信し、連携に務めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個別に支援の必要な家庭が多いため、地域の関係機関・小中学校とは常に連携し情報交換を行い、園運営に繋げることが必要である。 園の様子を丁寧に伝えることで、園理解につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの内容を検討し、更新回数を増やし、保護者・地域への情報発信に努めていきたい。 	
	② 園(保育)公開						
	③ 小学校との接続・連携						
	④ こ幼保との連携						
	⑤ P T Aの活性化						
	⑥ 地域教育協議会との連携						
	⑦ 学校関係者評価の実施						
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 園内環境の整備と有効活用 施設点検を行い危険・改善箇所を把握し整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 園内環境の改善・有効活用に努めた。 毎月安全点検の実施を行い不備な箇所は改善に向けて努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 園内環境の改善・有効活用に向けた全職員の共通理解の機会を持つことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で教育保育環境の整備について共通認識を持つ機会をもち、一人一人が必要性を理解した上で取り組んでいきたい。 	
	② 施設設備の有効利用						
	③ 施設設備の管理						
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> 情報の管理には職員全員で共通理解の上万全を尽くす。 個人情報の管理は徹底して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取り扱いには細心の注意を払うことを注意喚起し、管理を徹底した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> データの出し入れの記録簿を作成したり、個人情報の管理はマニュアルを順守した。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報管理について常に一人一人の意識の確認を行った上で業務を行えるよう努める。 	
	② 公文書の作成						
	③ 個人情報の管理・保護						
	④ 情報の収集						